

「 どしゃさいがい 」

鹿児島県 垂水市立松ヶ崎小学校 1年 ^{むらした}村下 ^{れん}漣

「ざあざあざあ。」「ぴかっ。」「ごろごろ。」

ぼくは、あさ、かみなりとあめのおとで、めがさめました。

はちがつようかに、かごしまけんきりしましに、せんじょうこうすいたいが、はっせいしました。ぼくは、おきてすぐに、てれびをつけました。にゆうすをみて、びっくりしました。

てれびをみながら、くるまのおとがしないなあとおもっていたら、いえのまえのどうろは、つうこうどめになっていました。

ぼくのおばさんはかいごしで、きのうのよるからしごとについていました。なので、いえにかえることができなくなっていました。おなじようにいえにかえれないで、かぞくのことをしんぱいしているひとが、たくさんいるんだろうなあとおもいました。ぼくは、このとき、ぼくのすむたるみずしも、たいへんなことになっているとおもいました。

てれびをみていると、たくさんはやまで、どしゃくずれがはっせいしていました。うみにも、がれきがたくさんながれていました。

あいらしで、いえがくずれてどしゃでつぶされたところもありました。なかにいたひとがにげおくれて、しょうぼうたいのひとたちが、さがしているということでした。みんな、たすかるといいなあとおもいました。

ぼくのがっこうは、きゅうなやまとどうろにはさまれたところにあります。どしゃさいがいのきけんちいきにしていされています。なので、おおあめやたいふうなどのさいがいのときに、たいせつないのちをまもるために、ひなんくんれんをしています。

まず、がっこうのなかであんぜんなところににげて、そのあと、ちかくのこうみんかんのにげるくんれんをしました。ほんとうのさいがいがおきたときに、ぼくはちゃんとできるかなあとふあんになりました。

こんかいのおおあめで、みずがでなくなってしまったところもありました。じえいたいのきゅうすいしゃも、かつどうしていました。ぼくのしょうらいのゆめは、じえいたいになって、みんなをまもることです。さいがいはこわいけど、みんなをまもるためにがんばりたいとおもいます。

。